



構造改革の機会に、総括も具体的方針も無い。

松原のいかず 建設委員会討論

平成26年度 下水道会計の決算認定 について

反対討論「第117号議案 平成26年度岐阜市下水道事業会計決算認定についてです。

北部プラントのりん回収事業は、平成26年度は9千万円の赤字です。一般的な産業廃棄物処理を行なった場合は、年3千万円の経費で済むとの説明ですから差額は毎年約6千万円にもなります。

北部プラントの汚泥に関する事業は、焼成レンガ事業では補助金を除いた市の支出は建設費5億7900万円。15年間稼働し収入2億7300万円、支出16億8800万円で収支は14億1500万円の赤字。建設費と合計すると19億9400万円の赤字でした。

現在のりん回収事業では、補助金を除いた市の支出は建設費3億1700万円。5年間稼働し収入1600万円、支出4億4500万円で収支は4億2900万円の赤字。建設費と合計すると7億4600万円の赤字です。

現在二つのプラントの赤字額合計は27億4000万円になります。売れ残りレンガ26万個の例にありますように、レンガ事業でも、りん事業でも見直しの機会がありました。少なくとも15年のレンガ事業が終了した時、そして、りん事業1年目の予定収入1000万円が、百万円で終了した時などです。

構造改革の判断を下せずに弱い事業を生き永らえさせた結果は、下水道会計を圧迫し、市民生活に結果をおしつけることになります。りんプラントは今後5年間は稼働との説明で、年8600万円赤字が5年間で4億3000万円の赤字増加となります。累計赤字は31億7000万円にもなります。

現在、下水道料金15%引き上げの話題があります。公営企業として、政策の選択を誤ったことを素直に総括する必要があります。当面するりんプラント事業損失の圧縮への方針も示されるべきです。構造改革の機会に総括も具体的方針も、残念ながら示されていません。議案には反対します。」

ホームページは、ヤフーで「松原のいかず」検索して下さい。

連絡先 岐阜市議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500



プール は、「再考」願えたが . . .

高島屋南地区の再開発提案進展しているようです。市役所が2フロアーを購入するとのお話が聞かれます。初期に歩くプール4コースの説明もあり困惑しました。厚生委員会では質疑の中で、プールの維持費が年間2億円必要と判明、10年間で20億円もの税金が消費されることへの疑問が大きくなりました。

「なぜ、買うのか？」の説明は、「10年経過すれば、リースより安くなる」と説明でした。しかし、説明にはプール維持費は含まれていませんでした。

市がプールを造れば、そのフロアーはプール以外には利用方法が無くなりますから、ビル所有者としては「購入」以外には「困る」と要求されることは当然でしょう。しかし、プールは「再考」したのでリースで対応できるのでは。新庁舎への施設集中、現庁舎跡地利用、公共施設の再配置など話題が提供されていますが、新たに税金でコンクリートの箱物を買うのは、「再考」されたほうがよろしいのでは？



松原のりかず
☎058-253-2500



戦争法反対 街頭行動 「平和憲法を守ろう」と
マイクを握る 松原のりかず

(岐阜市神田町、円徳寺前)